

令和5年度第2回東大和市学校給食センター運営委員会専門部会 会議要録

日 時 令和5年11月21日（火）14時00分～15時30分
場 所 東大和市学校給食センター 会議室
出席者 部会員4名
事務局 斎藤教育総務課長、青木給食係長、小林主任、半澤栄養士
傍聴者 0名
次 第 1 議題
(1) 答申書の内容（案）について
(2) 保護者の皆様への周知について

開会

○事務局（青木係長）

皆さま、こんにちは。本日はお忙しい中、東大和市学校給食センター運営委員会の専門部会にご出席いただきましてありがとうございます。

会議に先立ちまして、本日の資料の確認をさせていただきますが、その前に、本日の資料につきまして、本来であれば事前にお届けしてお目通しいただくべきものですが、当日の配布になってしまいましたこと、ご容赦いただきますようお願いいたします。

では、改めて資料の確認をさせていただきます。

配付資料の確認

○事務局（青木係長）

本日、部会長が所用により欠席となりますので、進行につきましては、部会長職務代理者をお願いいたします。

○部会長務代理者

それでは、本日は私が進行させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

会議につきましては、東大和市学校給食センター運営委員会規則第5条第2項および第6条第4項の規定により、部会員の半数以上の出席が必要となります。

本日、部会員の半数以上のご出席をいただいておりますので、ただいまから、令和5年度第2回東大和市学校給食センター運営委員会専門部会を始めさせていただきます。

議題に入る前に、本日の専門部会につきましては、只今、傍聴の許可願いは提出されておりませんが、会議中に傍聴許可願いが提出された際、審議に支障の無いよう、あら

はじめ取り扱いを確認させていただきます。

傍聴につきましては「東大和市学校給食センター運営委員会会議の傍聴に関する取扱要領」に手続きが定められております。

傍聴許可願いが提出された場合に、許可することにご異議ございませんか。

「異議なし」と呼ぶ声あり

○部会長職務代理者

ご異議がないものと認め、会議中に傍聴許可願いが提出された際、速やかに傍聴を許可いたします。

それでは、本日の議事に入ります。

はじめに、議題の（１）、「答申書の内容（案）について」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（青木係長）

それでは、お手元にお配りした資料の説明と併せて、内容についてご説明いたします。

はじめに別紙１、「令和５年度第１回東大和市学校給食センター運営委員会専門部会でのご意見の要約」をご覧ください。こちらは、第１回専門部会で部会員の皆様からいただいたご意見を要約したものです。学校給食の内容に関するもの、学校給食費に関するもの、その他に関するものに区分して記載しておりますので、ご確認いただければと思います。

次に別紙２、「答申書の内容（案）について」をご覧ください。こちらは、第１回専門部会でいただいたご意見を基にして作成した、教育委員会からの諮問に対する答申書の内容の原案です。

学校給食の内容につきましては、前回の専門部会で、学校給食の質を落とすのではなく維持することが良いという旨のご意見をいただきましたので、その趣旨に沿って記載をしております。

また、学校給食費につきましては、内容の維持に必要な金額に改定するための案を記載しております。この金額ですが、計算を簡素化するために、１食あたりの単価をこれまでの１円単位ではなく１０円単位としたいと考えております。

さらに、その他として、保護者の皆様への周知に関することを記載しております。これは、前回の専門部会で、部会員の皆様から、配布される資料がわかりづらいので、わかりやすく読みやすいものにしてほしいというお声をいただきましたことから、それを踏まえたものです。

本日の会議では、この資料をたたき台としまして、内容を付け加えるなど、どのようにするかご検討いただきたいと考えております。本日いただいたご意見を基にしまして、

事務局において答申書の案を作成し、第3回専門部会においてさらにご検討をいただいたうえで答申書案を完成させまして、次回の学校給食センター運営委員会でご審議いただくことを予定しております。

こちらにつきましても、内容をご確認いただければと思います。

○齋藤課長

私から補足します。2の学校給食費についての表をご覧ください。例えば、右側の改定後の学校給食費ですが、1食当たりプラス50円になっています。その下は順に54円、55円、68円のプラスとなっております。この金額は、現行の学校給食費に助成金の金額を加えて、さらに10円プラスをしたものです。

10円プラスすることにつきましては、給食費を改定するにあたって、内容を良くして人口流入を目指しましょう、東大和市の給食は素晴らしい給食だから、東大和市へ行けば子供たちが健康で元気になる、ということを目指したいという考えがあります。ウェルビーイング、つまり、皆さまが満たされるためには健康な体が必要だということが言われているので、案として一旦ご提示をさせていただいたものになります。

10円違うとどんなふうが変わってくるかと言いますと、例えば、小学校2年生の場合、一食当たり260円として、40円プラスだったのが50円プラスになると、月額が4,540円となり、700円プラスだったのが870円プラスになります。中学生ですと、月額で860円プラスだったのが1,140円プラスとなります。このことにつきまして、率直なご意見をお願いしたいと思います。以上です。

○部会長職務代理者

説明が終わりました。別紙2の「答申書の内容（案）について」につきまして、検討をいたします。ご意見がありましたら挙手のうえご発言をお願いいたします。

○部会員

以前示された各市の比較であるとか、そういうのを見ずにこれだけを見ると、単に「すご上がったな」と感じます。10円足すともう少し良くなるというお話でしたが、伝わりにくい。前回の専門部会で、今の水準は絶対落とさない方が良いという話は出ていたと思います。保護者の方の状況にもよるのかもしれないですが、給食の水準を落としたほうが良いという方は少ないと思っています。10円プラスの是非はまた次の話かなと思うんですが、まずは水準を落とさないと考えたときに、私としては、この比較のようなものをこの答申の中に入れて、わかりやすいと考えます。多摩地区で東大和市が一番低額で、高いところでは単価はこのくらいというのがあれば、東大和市はもともと単価を抑えていたということが伝わるとと思います。それがこの答申案の中で見えないので、それを入れたほうが良いというのが一つです。あと、現行の学校給食費と見比べると、

例えば低学年が 210 円から 260 円になっていますが、この 260 円の中には助成金分が含まれているわけですよね。この表の中に助成金分が含まれていることが示されていないと、これだけだと本当に上がった感しか残りません。令和 4 年度と令和 5 年度には、助成金がいくらあって、ということを知りやすく書いていただければ、単純に給食費が上がったというよりは、その助成金分が上がったとなって、理解していただきやすいのかなと思いました。

○部会員

助成金の額も総額で結構な金額でしたよね。自分が支払っている給食費にどれくらい上乗せされてたかというのがないと、より良いのかなと思います。

○齋藤課長

一人あたりではなくて、結局、全体で何千万円ですよという言い方だったからわかりにくいということですね。

○部会員

一人あたりに換算すると、このぐらいの額が助成金として出てました、なのでこれからその分を値上げしたいと思います、とすると、よりわかりやすいです。

○部会員

左側の小学生を見ると、1 年生が 210 円とありますが、この 210 円には助成金が入っているんですか。

○齋藤課長

この 210 円は規則で決まっている金額で、助成金は入っていません。この金額に現在の給食は 40 円プラスになっている状態です。

○部会員

私は見せ方だと思っています。ここの左側の表の 210 円の横にもうひとつ縦に列を作って、そこに現在の助成金が 40 円と入れてあげて、こちらにプラス 50 円であれば、10 円しか上がってません、と示してみてもどうでしょうか。現在の給食を担保するためにはプラス 10 円でなんとかなるんですよ、というふうに示したら、保護者の方々が、実は 210 円で食べたわけではなくて 250 円で食べていたんですよということを理解していただけるのではないかと思います。それがなく高くなったという話に見えてしまうので、そういう数値を保護者様に見えるようにすれば、そんなに驚かれることはないでしょうし、「ああ、そうだったのか」と皆さんはお知りになるのではないのでしょうか。

○部会員

諮問書に示してもらった表がいいと思います。現行が 210 円で、助成金相当額 40 円って書いてあって、その結果が 250 円です、と。それにさらに 10 円プラスするともう少し良くなりますよという話はまた別かもしれませんが、助成金の部分が抜けていて改定後の金額だけがポンとあると、上がったな、と感じます。ですから、この前示していただいた助成金相当額、ひとり 40 円とか 43 円とか書いてあるものがあるといいと思います。先ほど、表に列を加えてみては、というご意見がありましたが、その列は入れてはいけないものなんですか。

○齋藤課長

大丈夫です。

○部会員

私はこの前の表は分かりやすいなと思っていて、ここに 1 列入れてみればいいと思います。それに 10 円プラスするという点についてはともかく、助成金の部分が抜けてしまっているのがどうかと思います。

○齋藤課長

私どもの方で、助成金を強調しすぎたかなというのがありまして、削ってしまった次第でございます。あと、10 円プラスすることについてはいかがでしょうか。

○部会員

高学年になってくると、やっぱり金額が上がります。この中学生ですと 5,720 円ということで、5,000 円を超えるんだと思ったんですけど、中学生はたくさん食べるというのはあるので、いたしかたないのかな、と考えます。ただ、現行の 4,580 円から 5,720 円というのは驚きます。それが 1 人だったらいいですけど、2 人とか年子でいらっしやるとなさらです。

○部会員

私の場合は中学生 2 人と小学生 2 人なのですが、でも個人的にはそれでもいいと思います。ただ、今日皆さんがおっしゃったように、助成金があったからこそ今までやってこられたんだよ、というそのご苦労を伝えた方が、「そうか、そういうふうにお金を賄ってきたんだ」というのを知っていただけるので、十分に理解していただけるのかなと思います。

○部会員

4点あります。1つ目が、中学校が1,000円ぐらいのプラスと大きいですけど、思春期のお子さんなので、食べるに決まっています。私だったら前文に、思春期の成長のことを考えれば食べますよ、と。それも保健体育の教科書にも書いてあります。食べる量が全然違いますから、値段が上がるのは当然ですよ、と考えるというのが1つ。2点目としては、10円上げるエビデンスとして、東京都統一体力テストの結果があると考えます。本市は女子も男子も中学1年生の段階では身長と体重が東京都の平均を上回ってるんです。ところが2年生3年生となるに従って身長が平均から下がるんです。体重も増えてないですね。ですから、そこを担保するためにもという理由づけをしてあげて、少しでも子どもたちの成長を担保してあげたいという思いが市教委にありますよ、という言い方もできるかなというのがあります。あと3つ目としては、例えば多摩市は東大和市よりも大きいので、給食センターがいくつかあるんですが、広いので冷めてしまうことがあります。東大和市は全ての学校がトラックで10分かからないようなところがあるので、いつも温かいものは温かいし、冷たいものは冷たいまま届けられます。それはもう本市の強みになりますし、逆に1校1校自校給食をやると、それぞれがエネルギーを使うので、センター方式であれば効率的なはずですよ。そういうことを考えれば、説明できるようにしておけば良いのかな、と私は考えます。4つ目ですが、残菜率です。今は無理に食べさせてはいけませんよ、とは言ってはいるんですけど、やはり残菜率は大きいんです。あれは指導によるんだと思います。残菜率の低減っていうのを大きく謳って、まずはこれでやってみて、それで残菜率が低減や改善されない、体力値や体の大きさも変わらないというのであれば、次回考えればいいだけのことで、改善に向けて、こういう数値目標を立てるのも一つの手なのかな、と考えます。

○部会員

先ほど順位のことがご意見にありましたが、私は順位が1番にということ、給食費を10円上げることで1番になるというのは、あまり言わない方が良いかなと思います。今まで低い順位の中で頑張っていたというアピールはすごくいいと思うんですけど、何のための値上げなのかみたいなのがあります。1番になると東大和市に子どもを呼びやすいというか、給食がすごく良いまちですよっていうアピールだと、住んでいる私たちからしたら、別に1番にならなくても給食の中身が良ければ、それに対しての給食費を払うのはいいんだけど、という思いがあります。順位の使いかたとしては、今までこれぐらい低いところで頑張ってたんだよ、というのは大いにアピールしていただいてもいいと思うんですけど、値上げすることで、1番なのにこの程度か、なんて言われたりしてしまっても、つらいと思うので、あまりその使いかたはしないほうが良いのかな、と思いました。

○部会員

そのことで意見を。私は前回も質問したかと思いますが、この一覧で、現行は低学年だと 210 円と書いてありますが、令和 5 年度は一食あたり実質的には 250 円なわけですよ。であれば、東大和市は 8 番目くらいになるわけですが、金額は各市バラバラですけども、他市も助成金のようなものを入れていますよね。そうすると順位はあまり意味をなさなくなると考えます。これまでは助成金があったけれども、今回はなくなるので、その分は申し訳ありませんがご負担お願いします、というのは、私はおかしいことはないと思います。そう考えたときに、助成金なしでは今は東大和市が一番下で、助成金を考慮すると 250 円とか 260 円になりますけれども、トップになるという発想があるわけではありません。あまり高くない方がいいと思われているのかもしれませんが、私も高い方がいいと思っているわけではありません。ニュアンスが伝わりづらかったとしたら、すみません。

○部会員

前回の部会では、さらなる値上げの話ではなかったと私は思っていますし、資料にも書いてあるとおり、現状の水準を維持するのであれば、助成金の分を負担するというのはしかたがないかもしれないと考えます。10 円プラスというお考えもいろいろな理由で出てきたのかもしれないけれども、単純にこの前の部会から行けば、今現在の水準は落とさないでおきましょう、と。その水準は小学校低学年であれば 40 円の助成金で成り立っていました、その助成金が使えなくなります、だからその分だけ給食費は上がります、それをご理解ください、という内容でいいのかなと思います。ご家庭によっては厳しいというご意見はあるでしょうが、内容の水準は落とさない方向の話があったかなと思うので、そこで先ほど言われた低学年の場合はプラス 40 円でいいのかなと。答申書の中には、助成金が使われていた分が今回の値上げ部分です、というのをわかりやすくしていただければいいのかなと思います。物価高騰は当然皆さんご存じだと思いますので。その中で、多摩地区で最も低額の給食費で努力されているということがあるので、決して跳ね上がったというわけではなく、もともと努力していることがあるので、そのことがうまく伝わればいいなと思います。

○齋藤課長

今回、事務局の方で、前回の部会で皆様から現在の水準を維持するというご意見をお聞きしながら、今回はプラス 10 円という案を一旦は提示させていただきました。ただ先ほどプラス 10 円はしないでは、というご意見があったことを踏まえまして、次回もう一度資料をご提示しますが、その際には、今日いただいたその助成金の部分の追記をしたり、あるいはこの改定後の額につきましては、今の助成金の額に近い、ここで言うと低学年の 40 円、中学年の 44 円、高学年の 45 円、中学生 58 円という形

で、事務局内部でも再度検討させていただきたいと思います。

○部会員

これを最終的に決裁するのは、どなたなんですか。

○齋藤課長

今回の専門部会の中で答申案について再度ご検討いただいて、それを12月19日に学校給食センター運営委員会を開催しますが、そこで学校給食センター運営委員会としてはこういう答えになりました、というのを承認いただいて、そのまま教育長に渡していただきます。その後に、今回こういう答申がありましたということを12月の教育委員会に報告します。それを踏まえた上で、教育委員会でこの額に決定する、ということになります。そういう形の流れを予定しています。

○部会員

最終的には教育委員会がこういう形にします、と決めるということでもいいですか。議会での承認や市長部局は関係ないと思いますが。

○齋藤課長

東大和市の場合、私（わたくし）会計で運営していますので、市の公の予算書や決算書には載っていないという状態でございます。

○部会員

10円の加算をどうするにせよ、私は説明できればいいだけのことだと考えます。例えば、ここ数年間を見れば食器がきれいになって、食育の観点からもレベルが上がってきて、今度は食べるものも充実しますよっていう、ちゃんとストーリー立てて説明できればいいだけのことなのだと思います。この1年間だけのことだけ見てしまうとどうしても、特に外から転入した方は経緯が見えないので、当市では食べることを食育として力を入れていきますよ、その一環ですよ、プラスアルファで昨今の状況を考えて、という説明ができればいいだけのことだと思うので。あとは、乱暴な言い方ですけども、仮に給食費を上げたとして、保護者や市民の評判が良くないのであれば、また改めて見直せばいいだけだと思います。

○部会員

それぞれ考え方があると思うんですが、私はこの10円はいらないと思っています。この前は助成金がある場合とない場合の給食の例を見させていただいたんですが、助成金があることでこの献立が提供されていて、今のところ来年度以降についてはその水準

は維持する。今より当然より良くしたいという考えもあると思うんですが、給食について今のものが基準と考えていて、その基準から下げることが好ましくないと思っているので、そう考えると、助成金分を今回値上げさせていただきますというのを、どこまで分かりやすく伝えるかが大事だと思っています。そのプラス 10 円が入ると、逆に説明が難しくなるし、今の給食を基準と考えて、ある程度栄養価があると捉えたら、そのほうがわかりやすいかなと私は思っています。あともう 1 件、会の持ち方なんですが、次の 12 月 19 日の運営委員会は、ここで私は聞いてるので自分で記録してあるんですが、これは全校長はもう知ってることですか。前回の時にもお話をしたんですが、連絡がきてここでやりますとって、来ない校長も多くいたと思っています。前回私は来ましたが、半分ぐらい来てなかったです。当然保護者の方も日程がいろいろあると思うんですが、各校長、それぞれ学校事情がいろいろあるので、1 か月前でももしかしたらダメだっていう人もいると思うんですが、場合によっては本当に学期末なので、もう来れないって校長がいたら、出られないときはすみませんっていうことになると思うんですが、やはり全校長を集めての運営委員会、PTA の会長さんとか集めるのであれば、せめて 1 か月前には連絡がないと、やはり行ってあげられないと私は思っているので、1 か月前になりますので、通知等は早めにいただかないとという感じはしています。

○部会長職務代理者

ほかにご意見はございませんか。ほかにご意見等がなければ、これで議題の（1）、「答申書の内容（案）について」の検討を終了いたします。

次に、議題の（2）、「保護者の皆様への周知について」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（青木係長）

それでは、お手元にお配りした別紙 3、「東大和市の学校給食について（案）」をご覧ください。こちらは、学校給食について保護者の皆様に周知をするための配布物の案です。先ほども触れましたように、わかりやすいものを、というご意見を踏まえ、できるだけわかりやすくするように意識して作成いたしました。

先ほどの議題の（1）、「答申書の内容（案）について」でいただきましたご意見を基に、特に周知すべき内容について盛り込みたいと考えておりますので、その内容などについてご意見をいただきたいと考えております。また、こうすればもっと読みやすくなるよ、などのご意見もいただけますと幸いです。今回の会議でいただいたご意見を基にしまして、事務局で配布物の案に加筆修正を加えまして、第 3 回専門部会でご確認をいただきたいと考えております。

説明は以上です。よろしくをお願いいたします。

○齋藤課長

補足です。真ん中あたりの写真があるところをご覧ください。こちらは、先ほど話したような感じの文面になっておりまして、現在の水準を確保するとともに、その向上に努めていきたいということを書かせていただきました。それと一番下の改定の表ですが、前の資料の表でいただいたご意見のとおり、直す必要があると思っております。以上でございます。

○部会長職務代理者

説明が終わりました。

別紙3の「東大和市の学校給食について（案）」につきまして検討いたします。ご意見がありましたら、挙手のうえご発言をお願いいたします。

○部会員

先ほどと連動すると思うので、若干中身が変わるかと思うんですが、前文の部分が助成金の事などしっかり入っていていいと思います。国からの交付金を活用して、令和4年度と5年度については助成金を入れてやってきた。でも、その下の方には6年度は助成金がなくなるということが伝わらないといけないと思うんです。その下に、学校給食内容の水準を確保していくために、と書いてあるかと思うんですが、現在の内容の水準を内容の確保していくために、助成金分が値上がりになります、とした方が私はわかりやすいと感じます。そうすると、助成金でそれを賄っていたというのが伝わりやすいかなということと、真ん中の写真もあればより分かりやすいと思うんですが、前回の資料では、助成金がある場合とない場合の例を出していただきましたよね。助成金なしだとさくらんぼゼリーが出なくなるとかデコポンがでなくなるとか、こう書いてあったかと思います。そういうのがあると、「あ、そういうところだったんだな」「やっぱりそれはちょっと落とすのは忍びないな」という感じは受けるので、助成金分を上げないと水準がこれだけ落ちてしまう、だからその分だけを今回改定として値上げさせていただきたいとすれば、それは仕方がないのかなと思っていただけるのではないのでしょうか。

○事務局（青木係長）

ご意見ありがとうございました。そうですね、私どものほうでも、今いただいたご意見を基にして、確かに助成金があった場合とない場合の写真があると、こういうふうになるんではないかということが確かにわかると思いますので、そういったものを入れるようにするなど、いただいたご意見をもとにして、資料を作っていくというふうに考えております。

○部会員

ぱっと見て、前文の中身については合格かなと考えますが。ただ、2行目です「現在のよな学校給食の提供が難しい状況」とありますが、現在提供できてるんじゃないですかという指摘があるかもしれませんので、私でしたら、従来からもやってきたんだけど、もしくは、従来までのよな学校給食の提供が難しい状況となっています、または、なりつつあります、とします。あと、これまでも鋭意努力してきたことがわかるようにするといいと思います。なぜかという、下段真ん中の「向上に努めます」と書いてあるからです。本文に、「学校給食内容の水準を確保するとともに、その向上に努めてまいります」とありますが、この部分は「その向上に一層努めてまいります」とか、今までも努めてきたけれど、これからもさらに努めるというふうにするとういのかなと思いましたが。あとは先ほどの写真の話で、食パンだとなんか寂しいなと思いますから、ねじりパンのよな、なんか食べたくなるよなものがあるとういのかなと思います。

○部会員

先ほどご意見があったよな、やはり現在はすでに給食の提供が難しい状況ですよな。難しいから助成金を使っている、ということをおアピールした方が良いのかな、と思っています。

○事務局（小林主任）

皆様に伺います。別紙3の資料をA4版の片面で作成していますが、例えばこれを両面にすると読みづらいな、ですとか、分量が多くなって読みたくないな、といったことにはならないでしょうか。写真を載せたりすると分量が多くなりますので、両面での作成も考える必要があるかなと思っています。ページ数が多いと読まなくなることも考えられますので、そこを調整させていただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

○部会員

両面でも構わないと思います。文字だけだと見ないと思いますが、わかりやすい写真や表があれば。また、東大和市が多摩地区の中で小中学校ともに一番低額のところにあるということで、給食費を上げたとしても、もともとが低いんだということも、もう少しわかりやすく出すとういのかなと思っています。それで、先ほどの話のよな、基本的には助成金額の分が今回上がるんだとうのがわかりやすので、入れていただくほうがいい。物価高騰でなかなか食材提供が難しい中、助成金を使ってここまで来た、けれども助成金がないときはしかたないので、写真での例があれば、水準を下げてしまうとうなってしまうので、せめてこれだけは、とうのふうにおられる方もいると思います。文字だけではないほうがいいので、それは人の感覚ですが、ゆったりと両面

にあれば、読みやすいのかな。いろいろなことを入れすぎると、字が小さくなって方が見にくいと私は感じます。

○部会員

食べ物もカラーの方がより現実的に見えて、給食が減ったら寂しいなというのもわかりやすいと思います。あと、一目見て裏面があるかどうかわからないと、裏返すこともないかもしれないで、「裏面あり」としたほうがいいです。

○部会員

保護者の方へは、給食費の改定について、このお手紙だけのお知らせなんですか。それが心配でして。見ない方もいると思いますし、私の子が手紙を持ち帰らないことも多いので、手紙が保護者の手元に届かなかったときのことを考えるといいのでは。例えば保護者会が一番人が集まる時なので、その時に学校やPTAの本部もお伝えすることがあればそこで少しお時間をいただいたりすることがあるので、その場を活用するとか、中学校や小学校に出向いて説明をするとか。あとは、今「マチコミ」を結構利用していますので、例えばこういう案が出ています、というのを頻繁に送って、「あれ、そういえば値上げの話ってあったよね」という話題にしてもらうような方向で、耳に入られることを少しでもやっておかないと、いくらいい手紙をカラーで作っても、目に入らない人が絶対いるのではないかと思います。保護者会にも来られない方も多いので、そこが心配だなと感じます。そういうふうに知っていただいた方が良いかなと思います。

○部会員

私もこの専門部会に出ているからわかるのであって、運営委員会の全体会だけだったら、そこまでわからないかなと思うんですが、値段だけ見れば本当にすごく上がるので、やはりそれを丁寧に伝えることが一番大切かなと思っています。私の学校ではマチコミを活用していて、緊急連絡網もほとんどそれで流しています。本校はまだ学校日よりなんかはプリントと併せて両方出すんですが、学校日よりとかもマチコミだけという学校もあると聞いていますので、もうマチコミでもいいのかな。でもこれは大きな容量でしょうから、それだと難しいもしれないんですが、前回のようなパワーポイントの資料はマチコミに貼れるので、あれは活用できると思いました。本校でも、何ページかに分かれる資料を貼っているで、もしかしたら、これだけだったら一枚の表裏かも分からないですが、パワーポイントのようなわかりやすい資料をマチコミで送ればいいのかと思います。聞く話によると、やはり先ほどあったように、持ち帰らない子も多いですが、マチコミだと保護者が必ず自分で開けますので。学年日よりも本校はまだ印刷してるんですが、マチコミでもぜひ送ってほしいと言われて、今は両方で送っているんです。

だからマチコミも一つの使う手段だと思います。

○部会員

やはり経緯も大事かなと思います。この会議に来たら、「あ、そうなんだな」と思いますけど、今こういうことがあって、予算が給食費だけでは足りなくて、助成金を使っています、というのは、やはり段階的な周知はあったほうがありがたいです。私の子が通う学校もペーパーレスで全部マチコミだけで、紙ベースはいただいてないので、なんかまだ紙が欲しいなあと思っていることもあって、学校だよりなんかプリントアウトしているんですけど、段階的な周知をこの会議と並行してあってもいいのかなと思います。興味を持ってくれる人は「あ、そうなんだな」というふうにわかるし、あとは市のホームページとかに載せて、小中学校の保護者だけじゃなくて、市民全体に、今こういう現状で、子供たちのためにお金を使います、というのを周知するとより良い形でできるのかな、と思います。

○事務局（青木係長）

今、マチコミなどのご意見をいただきましたけれども、確かに紙だけではなく、マチコミなどのさまざまな電子媒体もありますので、そういったチャネルも使っていきたいと考えています。また、ホームページもそうですが、市報などもありますので、いろいろな方法でわかりやすくお知らせするように努めていきたいと思っております。

○部会員

もともと、これは紙でやる予定だったんですか。

○事務局（青木係長）

紙でというのも考えていましたし、それだけではなくいろいろなツールがありますので、紙だけではなく、データにしてお配りすることも考えていたところです。

○部会員

紙から始まるから裏表という発想になるであって。本校は今ほとんどペーパーレスです。そのほうがわかりやすいということなので。複数のA4の紙でも1つのデータにすれば2枚、3枚、4枚とスクロールできるので、保護者の皆さんもスマホでサッサッと見ることができて効率的だと思います。学校だよりだけではなくて、ご存じのように学校には東京都や国などのいろいろなところからいろいろなものが送られてくるので、それも一緒に送ることになりますが、一斉に送ってくる中での一部になるので、写真や文字を大きくしてあげた方が目立ってわかりやすいと思います。あと、市教委や東大和市がやろうとしていることをどう支援していくか、私はそういうスタンスです。だから、

私の考え方としては、説明できないことはやってはいけないだろうと思います。お金を上げるにしても下げるにしても、どちらにせよ説明できないのであればやらない方がいいと思います。やるのであれば説明できる、考えを示された保護者様とか市民の方々の質問に答えられるのであれば、私はどのような形でもいいと思います。それが説明できない数値だとか言葉なのであれば、私はやらない方がいいと考えます。

○部会員

最終的に保護者にこれを出すというのはいつぐらいの目安で考えられますか。保護者に何か紙ベースなり、デジタルかもわからないですが、これをだいたいいつぐらいに出すという目安などあるのでしょうか。

○齋藤課長

今想定しているのは、予定ですと12月25日に教育委員会の定例会が行われる予定ですので、そこでこういう答申がありました、と出すことになります。給食費というのは規則で定められていますので、教育委員会に諮って、教育委員会委員の皆様の説明をして、この金額に変えていいですかということで承認がいただければ、年内にご説明として出したいというふうに考えています。

○部会員

最終的には決定というか、こう変えますという通知があると思うんですが、手順があるのであまり先回りもできないのかわからないですが、中学校で言えば月に1,000円近く上がるという必要性が何かで伝わって、今そういうこと検討をしているんですというところが伝わって、なんかしているんだなと保護者が思った上で出てくる方が、ハードルが低いような気もするんです。

○部会員

パブリックコメントはされるのでしょうか。

○齋藤課長

現時点では予定はしておりません。

○部会員

子供にも伝えるという方法もあると思います。私はよく子どもから学校のことを聞きますので。こうらしいよ、という話を子どもから聞いて、ああ、そうなんだ、と。先生とお会いしたときに、こうなんですか、そうなんですよ、ということがあるので。

○部会員

すごく給食を頑張って作っているんだよ、ということを周知する方法もあるのかな、と思います。

○事務局（小林主任）

給食だよりなどに少し載せられないかなという検討はしているところです。

○部会員

我が家はアレルギー対応があるので、給食だよりをいつも冷蔵庫に貼るんですが、そういうところに前もって少しずつ予告をすとか。やはりいきなり言うと、拒否反応が出るのではないかと。

○部会員

保護者の立場で、令和5年度に助成金がこれだけ使われているというのは、皆さん知らないですよ。いろいろなところを出しているとは思いますが、助成金が今使われているというの、この専門部会や運営委員会に出ているからわかるんですが。でも、令和4年度と5年度とで助成金の金額が違うじゃないですか。助成金が使われているということも保護者はご存じでない、4年度5年度は助成金が使われている、でもこの助成金については今後見込めなくなるので、それを前提に検討しているところです、また決まり次第ご連絡します、などがあればいいのかなと思います。給食だよりでもいいんですが、先ほどあったみたいにマチコミの方が確実に今の経緯を伝えられます。いろいろな手続きがあるでしょうけれども、助成金について保護者の方が本当に理解してなくて、私たちはこう聞いているからわかっているぐらいの感じなので、助成金が使われていて、その助成金も来年度からはなくなるんだとか、そうしたことを反映すると伝わる気がします。

○部会員

なるべく説明を丁寧にすればいいのかな、と思います。

○部会員

保護者の皆さんはたぶん、今のまま自分たちが払っている給食費で賄えているんだろうと思っているのではないのでしょうか。私もついこの間までそう思いました。そこに例えば1食40円が加算されていたんだ、だから足りていないんだ、助成金が使えないんだったら1品、例えばジャムが減るんだ、デザートが減るんだというのが分かっていると、今までどおりの内容なら値上がりもしかたないのかな、となると思います。

○齋藤課長

ご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、検討の途中経過や、そもそもこの話を始めたのはなぜなのかというあたりが、本当に委員の皆さんがおっしゃったとおり、ここにいる部会員の皆さん、あるいはセンター運営委員会委員の皆さんはわかる、でもそれ以外の方はわからないということがあります。ですから、ここ1週間ぐらいのスパンで、例えばホームページにスライドを載せて、マチコミで流していただいて、ホームページのリンクを貼っていただくなどの方法をとりたいと思います。例えば題目に「給食費の改定について」と載せれば、やはり皆さんに見ていただけて、給食費が変わるんだ、と気づいていただけたと思いますので、マチコミを活用して、併せてホームページにも載せておけば、先ほどご意見にあったとおり、保護者でない方も見られる状況になりますし、あとはこの紙を最終的に配るかどうかということも合わせてこちらでもまた考えさせていただきたいと思います。

○部会員

食材料費の高騰についてこの前資料をいただきましたよね。令和5年度は令和4年度の倍ぐらいになっているということは、令和4年度は、今年度は今40円ですから20円ぐらいプラスしたということですね。基準額の210円に、令和4年度は20円ぐらいの助成金が一人当たりで出ているので、230円。それも令和5年度はさらに物価高騰したので、助成金を上げていただいて、令和5年度は40円になっているということですよね。それもこの前資料を見て、「あ、そうなんだ」と思ったんです。来年は今年よりも物価がさらに上がる可能性もあると思うんですけども、現状の水準確保でまずは値上げをしたいんです、と。助成金が令和4年度は約20円分ついて、令和5年度は40円がついているけれども、次年度は助成金がなくなる一方で物価高騰の可能性もありますが、今回は令和5年度の助成金の金額分が増えますよ、というのを、どこまでわかりやすく丁寧に伝えるかというのが一番のポイントかなと思います。突然値段だけがポンと出てしまうと、いろいろなご意見が出るかなと。

○齋藤課長

多くのご意見をいただき、ありがとうございます。簡単におさらいをさせていただきます。前文のところ少し言葉が足りないところがありますので、そういったところ修正すること。あと、写真ですとか文面についてもご指摘をいただきましたので、わかりやすくすること。それから、委員からご意見をいただきました、説明できないことはやるべきではないということ。確かにごもっともなご意見です。ありがとうございます。それと、現在助成金が使われていることや、こういう状況ですよ、ということが一番最後に決まってからポンと出すのではなくて、きちんと経過を含めてきちんと随時説明をしていくこと。ほかに細かいところもありますが、大きいところでは以上のように考えて

おります。今後、事務局の方で急ぎ調整させていただいて、場合によっては皆様にご報告をする前にその周知を始めさせていただく可能性もありますが、そのあたりはご了承くださいたいと思います。あとはこの資料の中身を作り変えないといけませんので、作り変えた資料を次回は遅くとも 1 週間前までには送りできるように準備をさせていただきたいと思います。本日は資料が当日配布となってしまいまして、大変申し訳ございませんでした。事務局としてはそういう形で今後進めさせていただければと思いますが、いかがでしょうか。

○部会長職務代理者

よろしく願いいたします。

ほかにご意見等がなければ、これで議題の（２）、「保護者の皆様への周知について」の検討を終了いたします。

次回の専門部会では、答申書の案について検討し、保護者の皆さんに周知する資料の内容の確認をすることといたします。

事務局は、本日の会議で出されたご意見を基に、答申書の案の作成と、保護者の皆さんに周知する資料の修正を次回の専門部会までをお願いいたします。

それでは、次回の専門部会の日程について、事務局からお願いいたします。

○事務局（青木係長）

次回の第 3 回専門部会の日程ですが、先般お電話でお伝えしましたように、12月8日（金）の午後 2 時からを予定しております。詳細につきましては、後日書面でお知らせいたします。

よろしく願いいたします。

○部会長職務代理者

ありがとうございました。

それでは、これをもちまして令和 5 年度第 2 回東大和市学校給食センター運営委員会専門部会を終了いたします。

お疲れさまでした。